

「法学を学んだ」ことの実績の証明に!!



法学検定試験

主催：法学検定試験委員会
公益財団法人日弁連法務研究財団
公益社団法人商事法務研究会

2024年11月24日(日)実施

- 出願期間：9月10日（火）～10月10日（木）
 - 願書提出締切：10月11日（金）消印有効
 - 受験料（税込）：
 - ベーシック〈基礎〉コース・・・・・・・・ 4,400円
 - スタンダード〈中級〉コース・・・・・・・・ 6,600円
 - アドバンスト〈上級〉コース・・・・・・・・ 9,900円
 - 併願 ベーシック・スタンダードセット*・・・・ 8,800円
 - 併願 スタンダード・アドバンストセット*・・・・ 13,200円
- *セット割引は2つのコースを同時に申し込んだ場合のみ適用されます

● 法学検定試験とは

『**法学の知識を客観的に評価する、日本唯一の全国規模の試験**』です。大学での単位認定だけでなく、企業への入社・配属時の参考資格など、さまざまな場面で活用されています。

● 主な受験者

法学部生を中心に、法科大学院生、公務員などの社会人等、法律に関わる多くの方々が受験しています。法学部生では主にベーシック〈基礎〉コースを1～2年生が、スタンダード〈中級〉コースを2～3年生が受験しています。学習が進んでいる方はアドバンスト〈上級〉コースにチャレンジしてみてください。

● 法学検定の活用

就活の際に履歴書に記入することができ、**法学部生としてしっかり学んだことを証明する材料**になります。

また、**宅建・行政書士・司法書士**などの法律資格や**公務員試験**を目指すための足固めとして非常に有益です。

もちろん、法科大学院や司法試験を目指す方にとっては、ステップアップに最適です。

法学既修者としての学力を有しているか否かの判定材料として、多くの法科大学院で法学検定試験の成績が参考とされています。

— 5つのメリット! —

- ① 授業前後の**予習復習ツール**として活用
- ② **試験前の知識確認**に最適
- ③ 自己の**学習到達度を確認**する指標
- ④ **就職試験でのアピール**材料
- ⑤ 法律資格や公務員試験のための**土台固め**

● 試験レベル・受験科目

ベーシック〈基礎〉コース

法学入門、憲法、民法、刑法

→**法学の初学者がまずはおさえておくべき基礎的なレベル!**

スタンダード〈中級〉コース

法学一般、憲法、民法、刑法、
選択（民訴、刑訴、商法、行政法、基本法総合から1科目）

→**法学を学習する者が到達すべき必須レベル!!!**

アドバンスト〈上級〉コース

法学基礎論、憲法、民法、刑法、
選択A（民訴、刑訴、商法、行政法）から1科目、
選択A・B（労働法、破産法、経済法、知的財産法）から1科目

→**法学を専門的に学ぶ者が目指すべき上級レベル!!!**

● 法律出版社がバックアップ

後援：株式会社 三省堂、株式会社 商事法務、株式会社 有斐閣

効果的な学習のために・・・

ベーシック・スタンダードコースには**公式問題集**があります

⇒問題集をしっかりと学習していれば解ける問題が全体の**6～7割**出題されます！

公式問題集・過去問集

ベーシック<基礎>コース

レベル⇒法学部2年次程度

主な受験者：法学部1年次生～2年次生

受験科目		試験時間
必須	法学入門 憲法 民法 刑法	120分

【4科目・合計60問】

科目＝法学入門10問/民法20問/その他各15問

合格率は例年、約60%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の入門書】

『2024年法学検定試験問題集 ベーシック<基礎>コース』

定価 2,420円(税込)



授業前後の予習復習ツールとして
問題集を利用しながら合格をめざそう

6～7割が問題集から出題*

詳細な解説付きで自習も可能！
問題集に取り組むことが合格への近道です！
*問題集の問題がそのまま出題されるとは限りません

スタンダード<中級>コース

レベル⇒標準的な法学部3年次程度

主な受験者：法学部2年次生～3年次生

受験科目		試験時間
必須	法学一般 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目Aおよび基本法総合*から1科目	

【5科目・合計75問】

科目＝法学一般10問/民法20問/その他各15問

[選択科目A]

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法
必須4科目に加え1科目選択の5科目です

合格率は例年、約55%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の教科書】

『2024年法学検定試験問題集スタンダード<中級>コース』

定価 4,290円(税込)



・公務員試験などの受験を考える人の土台固めにも
・自己の学習到達度を確認する指標として

6～7割が問題集から出題*

全8科目の問題が収録されているので
受験対策以外にも授業に有効活用可能！

***基本法総合は、憲法・民法・刑法から出題します**

問題集の憲法・民法・刑法の収録問題から6～7割が出題される他、
やや難易度の高い問題や他の法分野との境界領域の問題も
出題されます

アドバンスト<上級>コース

レベル⇒学習の進んでいる法学部3年次～修了程度

主な受験者：法律資格を目指す法学部生
法律実務に従事する公務員や法務スタッフ

受験科目		試験時間
必須	法学基礎論 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目AおよびBから2科目*	

【6科目・合計55問】

受験科目＝法学基礎論10問中5問選択/その他各10問

[選択科目A]

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法

[選択科目B]

⑤労働法 ⑥破産法 ⑦経済法 ⑧知的財産法

*選択科目Aから少なくとも1科目選んでください
必須4科目に加え2科目選択の6科目です

合格率約20%の難関コース!!

【学習教材：公式過去問集+各科目の基本書+各種判例集】

『2024年法学検定試験過去問集アドバンスト<上級>コース』

定価 3,850円(税込)




・より上位の法律資格や公務員試験を
目指す方のステップとして
・意識の高い学生生活を送るために

過去3年分の過去問を収録
過去問で傾向に慣れよう！

過去問集のため、この中からの出題はありません
問題集ではありませんのでご注意ください

出願から成績通知までのフロー（個人申込の場合）

※団体出願については、申込み責任者に必ずご確認ください

出願書類配布開始 2024年9月～	■出願書類(受験要項・願書・専用封筒)の入手方法 ①大学生協購買部・主要書店(取扱書店等)からの入手 …取扱書店等で無料配布します。 ②公式ウェブサイト等での出願書類の請求 …公式ウェブサイトから出願書類の請求ができます(無料)。	
出願受付開始 2024年9月10日	■申込みの方法 【郵送での申込み】 ①受験料を取扱書店等へ支払う場合 取扱書店等で受験料を支払い、取扱書店等発行の「 <u>書店払込証書</u> 」と「 <u>願書</u> 」を「 <u>専用封筒</u> 」に入れて、 <u>法学検定試験委員会事務局へ郵送</u> してください。 ②受験料を指定口座へ振り込む場合 下記の銀行口座に受験料を振込み(ATM可・インターネットバンキング不可)、「 <u>振込金額</u> 」と「 <u>振込人氏名</u> 」が明記されている利用明細、 <u>振込証明書</u> 等の振込み証明書類「 <u>願書</u> 」を「 <u>専用封筒</u> 」に入れて、 <u>法学検定試験委員会事務局へ郵送</u> してください。	
出願受付終了 【郵送申込締切】 2024年10月10日 (11日消印有効) 【ウェブサイト、コンビニでの 申込締切】 2024年10月15日 ※ウェブ申込+コンビニ決済 の場合は10月10日	<table border="1"><tr><td>受験料振込先 みずほ銀行 銀座支店(普通)2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局</td></tr></table>  <p>【ウェブサイト、コンビニ(店頭設置機械)からの申込み】 受付期間中は、ウェブサイトの出願専用ページ(QRコードから直接アクセスできます)または全国のコンビニ(店頭設置機械)から直接、受験の申込みができます(締切日にご注意ください。ウェブサイトから申し込まれた場合、支払方法で締切日が異なります)。 <u>ウェブサイト、コンビニ(店頭設置機械)から直接、受験を申し込まれた場合は、願書の郵送は不要です。</u></p>	受験料振込先 みずほ銀行 銀座支店(普通)2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局
受験料振込先 みずほ銀行 銀座支店(普通)2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局		
受験票の発送 2024年11月上旬	■受験票の到着・写真の貼付 受験票は願書に記載された住所宛に、直接受験者に普通郵便で発送します(併願の場合、コースごとに1通ずつ)。受験日より6日前までに <u>受験票が到着しない場合には法学検定試験委員会事務局までご連絡</u> ください。 受験票には写真貼付欄(1カ所)がありますので、写真を貼付してください。写真の大きさは縦4cm×横3cmで6か月以内に写した無背景、上半身脱帽、正面の証明写真に限ります。写真のコピー、家庭用プリンターで普通紙に印刷したもの、プリクラ、サングラス着用、集合写真は認められず、成績通知書を発行いたしません。 試験当日に写真票は回収いたします。	
試験当日 2024年11月24日	■試験当日の持ちもの 受験票(写真貼付欄[1カ所]に写真貼付のこと)、筆記用具(HB・Bの黒鉛筆、消しゴム)、腕時計(腕時計に準じるサイズの置き時計[10cm×10cm以内]は使用可)	
試験結果発送 2025年1月上旬	■試験結果の発送 試験結果は、願書に記載された住所宛に発送します(願書に記載された住所と現住所が異なる場合は、必ず郵便局に転送届をお出しください)	

問題集を利用した勉強方法

【Study Plannerを使ってみよう！】

- ・ベーシック（基礎）コース問題集巻末Study Plannerを利用して苦手分野の洗い出し
- ・日々の勉強の可視化をすることでモチベーションの維持
- *公式ウェブサイトから、ベーシック・スタンダードコース用のStudy Plannerがダウンロードできます

計画

◇まず1週間の計画を立てよう！
今週の到達点を決めて、そのためにやることも書き出しておこう。ざっくりとでよいので一日に進めるペース配分も設定


実行

◇今週実行した分の結果の洗い出しとして、どのくらいが理解できていたかを書きだそう

Review

◇間違えたところや理解があいまいだった部分として教科書で確認すべき問題、頻出な重要論点と思われる問題を洗いだそう。あの論点はどうような問題として出題されるか、問題集に戻って振り返りが出来るように問題番号もメモ！重要な判例を書き出して、どの論点（問題）でに関するか、メモしておこう

【授業を中心に】

- ①授業で出てきたキーワードを基に問題集を復習として使う
民法の授業で「未成年」「保佐」「補助」を学習した→ベーシック問題集の下の方にあるキーワード  の「行為能力」「未成年者の行為能力」「成年後見」「保佐・補助」の問題を解いてみる
- ②間違えたところや理解があいまいだった部分を教科書で確認→キーワードを基に目次で該当箇所を復習（該当箇所が分からない場合や目次にないキーワードを調べたい場合は事項索引等から探す）→あいまいな部分の要点をノートに書きだす

【問題集を中心に】

- ①問題集を一通り解いてみる
偶然解けただけの問題に緑色の付箋
間違えた問題に黄色の付箋
解説を読んでもよくわからない問題に赤い付箋
- ②全問を解き終わったら緑色の付箋、黄色の付箋について問題・解説を再度読む
一通り読んだら、緑色、黄色付箋の問題を再度解く
不安が残る問題はメモに問題番号を記しておく
- ③赤い付箋の解説をよく読み、わかりづらいキーワードはノートに書きだす
ノートに書きだしたキーワードについて教科書等で調べる
- ④赤い付箋の問題をもう一度解いてみる
- ⑤再度①から繰り返す



法学検定試験問題集ベーシック基礎コース 達成シート | 1日目 | 1/31

※使いかた： 解き終わったところから塗りつぶして行くこと。正解は解説で検分するなど、正解は塗ってOK!

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

≡ 問題集巻末の達成シートで
進捗を可視化！

4月	5月・6月	7月・8月	9月・10月	11月	試験日
	1周日	確認・復習期	2周日	復習	本番！
ガイダンス	間違えた問題、偶然解けただけの問題に付箋を付けながら問題集を一通り解いてみる	確認 間違えた問題、偶然解けた問題の確認	問題集2周日	復習 分からない問題がないかどうか復習	全力を尽くす

Study Plannerを使用した学習方法

Study Plannerを実際に使用した方の利用例と合格体験談



Study Planner Date: 5/13 ~ 5/18

○今週の目標・テーマ
問題集の最低3題 3行

Subject	Goal / Topic	To Do
法入門	41~60 [2]	正解の箇所を解説読
憲法		
民法	21~30 [2]	正解の箇所を解説読
刑法		

Subject	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	Total
法入門	5	5				5	5	20
憲法								
民法			5	5				10
刑法								

○今週の進捗

Subject	今週の進捗No.	達成したNo.	定めた1週間でも解いたNo.
法入門	41~60	42, 45, 47, 49, 50 51, 54, 57, 59, 60	42, 50, 51, 57
憲法			
民法	21~30	21, 23, 29, 24, 30	23, 25, 27
刑法			

○今週の達成率

目標 20問 - 達成 17問

達成率 85%

Review Page

このページを毎日手帳に貼ることをおすすめします。ポイントを買える化してあとで見てみてください。

問題No.	復習	CheckPoint	My Text
42	法解釈の1つは法解釈	文意の正確な理解と、条文の目的を正確に読み取る	
50	債権の発生	「所有権」の発生は所有権	
51	民事訴訟と刑事訴訟	控訴 - 控訴状 1回 - 控訴人	
57	弁護士 報酬の請求	弁護士 3年3月	
23	契約の有効性	意思表示の代理 1-1-1 条文	
25	代理権の消滅 代理権の消滅	代理権の消滅 1-1-1 条文	
27	無効 - 取消	取消権の行使 1-1-1 条文	

○よく読んでおくべき判例

問題No.	判例名	My Text
41	最判明49・10・17民集28・10・2090	

○進捗の目標と計画

正答率を上げる

3回連続の正答率をあげたい。併せて進捗も上げていく。地道に努力を怠らないうちに、また進捗も上げていく。この知識が活かせる分野を重点的に勉強し、また機会があれば上位のスタンダード(中級)コースに挑戦したいと考えています。

←ゼミの先生からコメントも



【合格体験談】

受験したきっかけは、私の大学では講義の一環として法学検定試験の勉強をしていたことから、この機会にこれまで学んだ法律の知識がどれだけ身につけているかを確認したいと思い受験に挑みました。また、今回グループ受験で挑んだため仲間と一緒に合格しようという目標達成のモチベーションもできたことがきっかけとなりました。

勉強方法は、法学検定試験の公式問題集を中心に勉強してきました。試験やテストなど覚える範囲が広い場合、いかに記憶を継続的に残すかが重要になってくると思いますが、私の場合は毎日コツコツ型で勉強していました。具体的には通学時間や空き時間などの隙間時間に行くこと以外に講義の一環として、まず予習として問題集から指定された問題を1週間のうちに30問勉強し、次の講義で先生が作成した小テストを行う流れを4月から試験日近くまで行ってきました。そのため少しずつでの進捗にはなるのですが、その分心的にも負担がからず楽しく勉強ができたことや、勉強計画が立てやすいため他の勉強と並行してできました。さらに一緒に受験する仲間と勉強することで分からないところは気軽に相談することができ、すぐに新しい知識を得られ理解を深めることができました。復習に関しては、特にアウトプットに時間を費やすことを意識していました。①テストの翌日②1か月ごと③試験直前、の計3回は行うことで、どこが分かっているのかを確認できるため効率よく継続的に覚えることができました。また、基本的な一般常識も改めて知ることができました。試験日近くには、追い込みとして問題集を何度も見返したり、今まで行った小テストを解き直し、知識を確立させていきました。

結果としては、自分の満足がゆく点数を取るという目標達成は成し遂げることができず悔いが残りましたが、合格に向けてのプレッシャーや緊張がある中、今まで勉強した努力が実を結ぶことができたためうれしく思いました。

今回の法学検定試験を通し自分が苦手とする分野を発見できたことが1番の収穫でした。そのため今回学んだ知識を忘れずとどめておくことはもちろんのこと、これから苦手とする分野を重点的に勉強し、また機会があれば上位のスタンダード(中級)コースに挑戦したいと考えています。

オープンバッジ*の発行

ベーシック(基礎)コース、スタンダード(中級)コース、アドバンスト(上級)コースのexcellent合格者には各コースのexcellentバッジを、また、スタンダード(中級)コース、アドバンスト(上級)コースの通常合格者には各コースの合格バッジを発行いたします。対象者には試験結果通知時に受領手続のご案内をいたします。
*世界的な技術標準規格「IMS Global Learning Consortium」に準拠し、発行されるデジタル証明・認証



※バッジのデザインは変更になることがあります

2023年の出題例

【ベーシック〈基礎〉コースよりご紹介】 Let's Challenge! 正解はこのページの下にあります

①

思想・良心の自由に関する以下の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

1. 国民は、いかなる国家観、世界観、人生観をもとうとも絶対的に自由であり、たとえそれが民主主義や他者の人権を否定する思想であっても、内心にとどまる限り処罰されることはない。
2. 人の内面と外部的行為は結び付いているので、思想・信条に反する外部的行為を強制されない自由も絶対的に保障される。
3. 思想・良心の自由は、個人がいかなる思想を抱いているかについて、国家権力が告白を強制できないことをも保障する。
4. 判例によれば、名誉毀損に対する民事上の救済方法として、裁判所が謝罪広告の掲載を命令することは、単に事態の真相を告白し陳謝の意を表するにとどまる程度であれば、合憲である。

(憲法 問題6)

②

以下の事例のうち、刑法65条2項が適用されないものを1つ選びなさい。

1. Xは、友人Yを教唆して、Yの実子A(1歳)を山に運んで遺棄させた。
2. Xは、友人Yを教唆して、YがYの実父Aから預かって保管していた財物を横領させた。
3. 妊娠中の女性Aの依頼を受けたXは、医師Yと共謀のうえ、YにおいてAに堕胎手術を実施して堕胎させた。
4. 占有者ではないXは、他人の財物を業務上保管するYを教唆して、その財物を横領させた。

〔参照条文〕刑法65条(身分犯の共犯)

- 1 犯人の身分によって構成すべき犯罪行為に加功したときは、身分のない者であっても、共犯とする。
- 2 身分によって特に刑の軽重があるときは、身分のない者には通常の刑を科する。

(刑法 問題9)

2023年の実施状況

●ベーシック〈基礎〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(60点満点)	合格点(excellent)	合格者数(excellent)	合格率
3,669名	3,160名	35.6点	31点(50点)以上	2,044名(390名)	64.7%

●スタンダード〈中級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(75点満点)	合格点(excellent)	合格者(excellent)	合格率
1,691名	1,453名	44.4点	43点(61点)以上	816名(150名)	56.2%

●アドバンスト〈上級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(55点満点)	合格点(excellent)	合格者(excellent)	合格率
323名	258名	28.4点	34点(39点)以上	71名(23名)	27.5%

2023年表彰者一覧と表彰式の様子

👑 個人賞 (各コースの最高得点およびそれに準ずる者若干名) (敬称略)

ベーシック<基礎>コース (60点満点)

最優秀賞 井村光 (20歳) 愛知県 59点		
優秀賞 R・I (10代) 新潟県 58点	優秀賞 井上瑠唯 (18歳) 大阪府 58点	優秀賞 K・U (19歳) 神奈川県 58点
優秀賞 久保千晴 (20代) 58点	優秀賞 坂下優大 (20代) 千葉県 58点	優秀賞 T・S (41歳) 山梨県 58点
優秀賞 永長大二郎 (18歳) 58点	優秀賞 原田一成 (20歳) 神奈川県 58点	優秀賞 春名香弘子 (18歳) 新潟県 58点
優秀賞 森健人 (20歳) 熊本県 58点		

スタンダード<中級>コース (75点満点)

最優秀賞 毛利 衣志 (19歳) 73点		
優秀賞 外所 功太郎 (20歳) 千葉県 71点	優秀賞 A・N (20歳) 東京都 71点	優秀賞 毛阪 由紀 (61歳) 大阪府 71点

アドバンスト<上級>コース (55点満点)

最優秀賞 北村 一夫 (60代) 京都府 44点		
優秀賞 M・N (22歳) 北海道 43点	優秀賞 N・W (34歳) 大阪府 43点	

👤 団体賞 (各コース20名以上受験の団体)

【合格率の部】

ベーシック<基礎>コース	
第1位 新潟大学	97.5%
第2位 茨城大学	95.5%
第3位 南山大学	95.2%

スタンダード<中級>コース	
第1位 南山大学	92.6%
第2位 東京経済大学 キャリアサポート・コース	85.0%
第3位 明治学院大学	80.0%

【合格者数の部】

ベーシック<基礎>コース	
第1位 熊本大学	132人
第2位 札幌学院大学	114人
第3位 近畿大学	104人

スタンダード<中級>コース	
第1位 札幌学院大学	84人
第2位 熊本大学	53人
第3位 関東学院大学	47人

👤 グループ賞 (各コース10名以上のグループで合格者上位5人の平均点)

ベーシック<基礎>コース	
福岡カレッジ・オブ・ビジネス	54.2点

スタンダード<中級>コース	
香川大学法学研究会	62.0点

※団体賞・グループ賞はアドバンストコースは該当なし



法学検定試験委員会委員の先生方



受賞者と委員の茶話会
(右側が高橋宏志委員長)

法学検定試験の概要

●「法学検定試験」とは

「法学検定試験」は、法学全般に関する学力水準を客観的に測る全国規模の国内唯一の検定試験として、法学検定試験委員会が2000年から実施する試験です。大学等で修得した法学的素養がどのようなレベルにあるかを客観的に証明するツールとして、法学部在学、出身か否かを問わず、毎年多くの学生や社会人等がチャレンジしています。

ベーシック〈基礎〉コース、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースの3つのコースがありますので、学習進度に応じてコースを選択し、徐々にステップアップしていくことが可能です。大学での単位認定、企業への入社や配属時等、さまざまな場面で利用されています。

● 法学検定試験委員（2024年4月現在）

◎ 委員長

高橋 宏志 公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

○ 副委員長

山下 友信 公益社団法人商事法務研究会代表理事会長・東京大学名誉教授

委員（五十音順）

小幡 純子	日本大学教授	井田 良	中央大学教授
初宿 正典	京都大学名誉教授	北村 雅史	関西大学教授
三井 誠	神戸大学名誉教授	中田 裕康	東京大学名誉教授・一橋大学名誉教授
		安永 正昭	神戸大学名誉教授

★ 顧問

新堂 幸司 公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

法学検定試験 各コース実施要領

・受験資格

「法学検定試験」は、どなたでも受験することができます。受験資格は一切問いません。

ベーシック〈基礎〉コースとスタンダード〈中級〉コース、スタンダード〈中級〉コースとアドバンスト〈上級〉コースは併願することができます。

・試験会場

一般会場と団体会場があります。詳細は9月上旬より配布の「受験要項」（公式ウェブサイトには4月頃掲載予定）をご参照ください。

・出題形式・解答方式

出題は多肢択一形式、解答方式はマークシート方式です。

・持ち物

受験票（写真を貼付のこと）、筆記用具（HB・Bの黒鉛筆、消しゴム）、腕時計（腕時計に準じるサイズの置き時計可）。

・試験時間

コース名	集合時刻	試験時間
ベーシック〈基礎〉コース	9:40	10:00～12:00(120分)
スタンダード〈中級〉コース	13:40	14:00～16:30(150分)
アドバンスト〈上級〉コース	9:40	10:00～12:30(150分)

お問い合わせ



法学検定試験委員会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階

Tel : 03 (6262) 6730 受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日は除く）

※お電話でのお問い合わせは受験者ご本人に限らせていただきます。
その他のお問い合わせはメールでお願いします。

E-Mail : houken_since2000@jimu-kyoku.net

✉@houken_since00

公式ウェブサイト : <https://www.shojihomu.or.jp/hougaku/index>

